

## 教育委員会定例会会議録

開催日時	令和3年10月26日(火)午後2時00分
開催場所	木城町総合交流センター2階大会議室
出席委員等	委員 鳴海 良廣                      委員 牛田 裕子
	委員 金永 俊一                      委員 上西 幸子
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 平野大輔 専門監 酒匂慎一郎 補佐 廣瀬豊 社会教育係長 白岩修 学校教育係長 白瀧茂穂 給食センター係長 中村伸悟

### ・教育委員会定例会の開催

#### 1 開会のことば

**平野課長**

- ・ただ今から令和3年10月木城町教育委員会定例会を開会します。

#### 2 教育長あいさつ

**恵利教育長**

- ・ 新型コロナ感染者の数も減少傾向で、宮崎県では感染者なしの日の状況も続いています。少しほっとしていますが、5つの大きな波を経験した私たちですので、第6波が押し寄せてくることへの不安もまだありますし、治療薬の開発・普及等が明確にならないと、まだまだ安心できないのかなと思います。この感染症が早くインフルエンザなどのように通常の感染症くらいの環境が整ってほしいところです。感染者数の下降傾向の中で、心がホッとする、うれしくなるニュースとして、5月に子どもたちと婦人会の方々が一緒に植えたフジバカマに花が咲き、アサギマダラが羽を休めているというニュースも耳にしました。東北から台湾までの旅をする蝶だそうです。感動や自然の不思議さ、力を学んでほしいと思います。さて、そのような状況の中ですので、ホールでのイベントやいろいろな行事も感染症対策をしながら、開催されようとしています。そのような中で、一昨日、秋晴れの中、小学校の運動会も開催され、今年も、午前中開催、保護者人数制限、時間での入れ替えがなされましたが、子どもたちの入れ替えは無く、1年生から6年生までの子どもたちの一同が競技し、それぞれの競技・演技を応援や声援を送る姿が見られ、胸が熱くなる思いが致しました。来年は9学年の運動会が実施予定であり、その状況も想像しながらの半日でもありました。今後は、そのときの状況の中で、何をどうするのか、どのようにすれば良いのか。その都度検討が必要になってくる、心構えをしておく必要があると感じています。これからの、大きな行事で心配なのが成人式です。12月の始め、中旬と線を引いて、実施の可能性について検討することがあるのだと思います。その際にはどうかご意見をよろしくお願いします。本日も、様々な面で、先日ご意見をいただいたことで、再度ご提案を

させていただきます、ご意見をいただきますが、どうぞよろしくお願い致します。

### 3 議長選出

[恵利教育長に議長をお願いしました。]

### 4 10月期定例会会議録署名委員の指名（恵利教育長・鳴海委員）

[恵利教育長・鳴海委員を指名しました。]

### 5 議題及び議事

#### (1) 9月期定例会会議録の承認について（恵利教育長・金永委員）

[事前に送付していた9月定例会の会議録について承認され、委員において署名]

#### (2) 事務局報告事項

##### ①教育長報告

・[9月行事報告と併せて報告。]

##### ②行事報告及び行事予定

#### 10月行事報告)

#### 恵利教育長

- ・10月1日（金）教育委員辞令交付式  
義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議  
義務教育学校設立準備委員会図書部会  
青空地区婦人学級（ニュースポーツ講習）
- ・10月2日（土）「第35回国民文化祭・全国障害者芸術文化祭「高城合戦トークショー」
- ・10月3日（日）めばえ保育園運動会  
第35回国民文化祭・全国障害者芸術文化祭「高城合戦史跡めぐり」
- ・10月5日（火）全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会
- ・10月6日（水）令和3年度西都・児湯社会教育指導員部会第3回研修会
- ・10月8日（金）義務教育学校検討会  
コミュニティ助成事業贈呈式  
全国町村教育長会第2回理事会・研修会  
義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議  
木城中学校合唱コンクール
- ・10月10日（日）防災講話「NHK記者が見た災害とその教訓」
- ・10月11日（月）第7回教育研究員研修会  
第81回国民スポーツ大会市町村及び競技団体担当者会議  
自治公民館連絡協議会第2回役員会
- ・10月12日（火）学校給食施設衛生管理立入調査（2回目）  
木城町校長研修会10月定例会  
第4回木城小・木城中学校合同校務部会

- 木城町青少年育成町民会議第2回役員会
- ・ 10月13日(水) 令和3年度第2回総合型クラブ連絡会議  
令和3年度第4回児湯郡スポーツ協会会長副会長及び常任理事会
  - ・ 10月14日(木) みやざき県民総合スポーツ祭第3回実行委員会  
令和3年度学校組織マネジメント等に係る学校訪問(後期)  
第2回木城町生涯学習推進協議会
  - ・ 10月15日(金) 義務教育学校校舎建設工事(1工区)工程会議  
令和3年度 指導主事等人権教育研修会
  - ・ 10月17日(日) 第35回国民文化祭全国障害者芸術文化祭閉会式
  - ・ 10月19日(火) 第12回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会第1回主催者・共催者合同  
実行委員会
  - ・ 10月20日(水) 西都児湯地域婦人連絡協議会研修会  
木城小・木城中学校合同校務部会中間報告会
  - ・ 10月21日(木) 木城の方と語る会 \*木城中3年生  
令和3年度中部教育事務所管内児湯地区県民総ぐるみ教育推進研  
修会  
給食主任者会  
令和3年度第1回西都児湯青少年教育担当者会
  - ・ 10月22日(金) 令和3年度スポーツ少年団フェスタ  
宮崎中央支援学校設立50周年記念式典  
義務教育学校校舎建設工事(1工区)工程会議  
新春ジョギング大会第50回記念大会第3回実行委員会
  - ・ 10月24日(日) 木城小学校運動会第123回秋季運動会
  - ・ 10月26日(火) 文化庁調査官現地指導  
教育委員会10月定例会
  - ・ 10月27日(水) 校外授業 小学3年生 水辺の生き物観察  
義務教育学校検討会  
自治公民館支援のためのNPO法人設立プロジェクト会議
  - ・ 10月28日(木) 教育委員学校訪問  
学校管理職中間ミーティング(小学校)  
第1回文化財保存調査委員会  
宮崎県統合型校務支援システム教育委員会研修会  
木城町学校給食共同調理場会計第2回監査  
義務教育学校開設準備委員会図書部会  
第7回教育研究員研修会
  - ・ 10月29日(金) 学校管理職中間ミーティング(中学校)

義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議

10月30日（土）ジュニアリーダー第3回定例会

恵利教育長

・続きまして、11月行事予定に入ります。課長から説明させます。

11月行事予定)

平野課長

- ・11月1日（月）木城町要保護児童対策地域協議会代表者会議  
令和3年度木城町子ども・子育て会議  
木城小学校修学旅行 \*2日まで
- ・11月2日（火）木城小・木城中学校合同校務部会
- ・11月4日（木）木城小学校宿泊学習 \*5日まで  
第12回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会に係る木城町選手団結団式  
及び激励会
- ・11月5日（金）義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議  
青少年育成町民会議・子ども会育成連絡協議会
- ・11月6日（土）木城町民文化祭「生涯学習のつどい大会」
- ・11月8日（月）第2回高鍋神楽記録作成調査委員会
- ・11月10日（水）ICT活用モデル校授業参観
- ・11月11日（木）中央婦人学級・福寿大学合同講座 SDGs 講座  
第2回木城町教育支援委員会
- ・11月12日（金）義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議  
給食主任者会
- ・11月13日（土）航空自衛隊西部航空音楽隊アンサンブルコンサート  
第63回九州地区民俗芸能大会\*リハーサル 中之又神楽保存会
- ・11月14日（日）岩淵自治公民館多賀神社秋祭り  
第63回九州地区民俗芸能大会 \*中之又神楽保存会
- ・11月15日（月）第3回木城町社会教育委員会
- ・11月17日（水）第8回木城町議会臨時会  
高原町教育委員先進地事例調査来庁  
木城小・木城中学校合同校務部会
- ・11月18日（木）木城町立学校学校長研修会  
JFA こころのプロジェクト「夢の教室」\*小学5年生対象  
義務教育学校設立準備委員会 PTA 部会
- ・11月19日（金）九州町村教育長会連絡協議会「臨時協議会」  
義務教育学校校舎建設工事（1工区）工程会議
- ・11月20日（土）児湯郡スポーツ協会主催スポーツ研修会

- ・ 11月24日(水) 東児湯校長会  
令和3年度宮崎縣市町村教育委員会連合会第・3回理事会・意見交換会
- ・ 11月25日(木) 中央婦人学級 宮崎県防災庁舎見学  
木城中学校2年生修学旅行 \*27日まで  
木城駐在所連絡協議会
- ・ 11月26日(金) 義務教育学校校舎建設工事(1工区) 工程会議
- ・ 11月27日(土) 木城町女性のつどい大会
- ・ 11月30日(火) 義務教育学校設立準備委員会図書部会先進校視察  
児湯管内教育支援員会

**\*参考**

- ・ 木城小・木城中学校合同校務部会 12/1(水)
- ・ 第9回木城町議会定例会 12/3(金)～9(木) \*見込み
- ・ 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会 12/13(月)
- ・ 木城小・木城中学校合同校務部会 12/14(火)
- ・ 第3回木城町学校運営協議会 12/16(木)
- ・ 木城小学校・中学校 終業式 12/24(金)

**恵利教育長**

- ・ 質問等はありませんか。よろしかったでしょうか

**金永委員**

- ・ 中学3年生のキャリア教育、木城の方と語る会は総合的な学習の時間ですか。

**教育長**

- ・ そうです。

**酒匂専門監**

- ・ 今回は子供たちが将来、どのような仕事、道を進むのか考え、それまでに自分に何が必要なかを逆算して考えていき、それを発表し、大人の方に聞いてもらい、それに質問したりといった会でした。地域の方も子どもたちと話ができて喜んでいただいていた。

**金永委員**

- ・ 子どもたち、社会人、共に話が出来て、普段出来ない事ができて、貴重な時間だったでしょうね。

**恵利教育長**

- ・ 他にありませんか。上西委員、小学校の運動会はいかがでしたか。

**上西委員**

- ・ 天気にも恵まれ良かったです。新しく入った1年生は初めてだったので、こんなものかなと思ったかもしれませんね。来年はお弁当も一緒に食べることができる運動

会ができればなと思いました。

**恵利教育長**

- ・2年生もこの形しか知らないのですよね。来年は昼食を皆で食べて、午後からまた頑張れる運動会ができればいいですよね。

**金永委員**

- ・運動会の形式は県内、だいたい同じですか。

**恵利教育長**

- ・だいたい同じですね。宮崎市の学校では、時間帯で保護者の入れ替えを行ってという形。子どもたちは最初から出てますが。

**金永委員**

- ・小学校の宿泊学習の行き先は具体的にどこですか。

**平野課長**

- ・青島青少年自然の家です。

③その他

**恵利教育長**

- ・それでは、その他に入ります。生涯学習のつどい大会について白岩係長から説明をお願いします。

**白岩係長**

- ・11月6日の土曜日に総合交流センターホールで午前9時の開催予定です。今年度はPTA連絡協議会との合同開催です。教育委員の皆様には例年、開催の案内をしておりましたが、コロナ感染症対策のため座席数を減らしております。申し訳ありませんが特別なご案内はいたしません。2階大会議室をサテライト会場として用意しますので、ご来場いただければありがたいと思います。内容として、2年に1回の環境美化推進大会が中止となりましたので、大会で表彰予定でした環境美化功労者の表彰を行います。その後に各団体、個人の讃嘆式、表彰を行います。実践発表では、友愛老人クラブからアサギマダラの取り組みについて、小学4年生の合唱、ミニコンサートとしてアルケミストが出演予定です。作品展示につきましては6日から9日まで作品展示を町体育館で行います。

**恵利教育長**

- ・人数制限の理由についての説明をもう少し詳しくお願いします。

**白岩係長**

- ・ホール座席数を150席までに減らしていること、PTA研究大会ということで、児童、保護者席の確保のためです。申し訳ありませんがご理解くださいますようお願いいたします。

**恵利教育長**

- ・いつもですと、ぜひお越し下さいとしていますが、説明のとおりです。

#### 金永委員

- ・PTA研究大会ということであれば、先ほど質問しました中学校のキャリア教育の実践発表もあると良かったのかなと思います。去年はありましたが。人数制限のことはいいんですが、組織への動員についてですが、皆さんが行きたい、見たいという方ばかりではないのですが、行事をするために借り出されるというようなことでは、出る人が困ると思ひまして。地域の方のニーズにあったものが出品、出演されるといいのかなと思います。

#### 恵利教育長

- ・先日の生涯学習推進協議会の中で出た意見として、昨年度から、無理をして動員をしたのですか、一歩進んだ時に、そのような研修会でいいのだろうかという意見がありました。もっと魅力のある、いろんなやり方で、子どもから高齢者の方までが発表できたり、工夫しながら、楽しめる大会にしたらどうかという意見がありました。来年は工夫しなければと思ったところです。次に新春ジョギング大会第50回記念大会のことについての説明をお願いします。

#### 白岩係長

- ・今年度が50回の節目を迎えるということで記念大会として来年2月20日の日曜日に開催します。大会名も町制50周年記念令和3年度木城町新春ジョギング大会第50回記念これっきり30キロウルトラマラソンとしました。これまでのロードレースに加え30キロのロングコースを設けます。コースは役場スタートで岩戸、石河内、ピノックパークで折り返し、川原公園、比木神社、総合運動場というコースです。町内の観光コースをポイントにしています。大会名称どおり1回だけです。実行委員会を3回開催しました。大会名誉会長を町長、町スポーツ協会長の鎌田さんを会長に、スポーツ関係団体、ふるさと振興協会、商工会等を交えて意見をいただきながら進めています。年内いっぱいまで参加申し込みを受け付けです。ただしコロナが心配されますので大会中止、縮小となることあるのではと考えています。オリンピックメダリストの有森裕子さんをゲストに迎え、トークショー、ランニング教室を予定しております。

#### 鳴海委員

- ・コースが谷内、小屋町峠を下ってというコースですよね。非常に心配しておりますので専門家の意見を聞いてやってください。

#### 恵利教育長

- ・事故のないようにやりたいと思います。専門の企画会社に委託していますので。

#### (3) 協議事項

第1号議案 教育長職務代理者の指名について

#### 恵利教育長

- ・協議事項に入ります。第1号議案、教育長職務代理者の指名についてを議題とします。

課長から説明をお願いします。

**平野課長**

・資料を配布しております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行うと規定されております。これまで、鳴海委員を職務代理者としてお願いしておりました。鳴海委員の教育委員としての任期は9月30日まででしたが、9月の町議会で教育委員の任命で同意を得ましたので10月1日から再任となりました。教育委員としての任期が一旦切れていますので、改めて職務代理者を指名しなければなりません。事務局としましては、鳴海委員を再度、職務代理者として指名したいので議案として提出するものです。

**恵利教育長**

・それでは議案第1号について、質問等ありませんでしょうか。

**金永委員**

・よろしくお願いします。

**恵利教育長**

・それでは、議案第1号、教育長職務代理者の指名については、鳴海委員を指名することに決定してよろしいでしょうか。ありがとうございます。議案第1号、教育長職務代理者の指名については、鳴海委員を指名することに決定しました。鳴海委員、よろしくお願いします。

**鳴海委員**

・実際に職務代理をする機会がないことを願って引き受けたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

#### (4) 意見交換

**恵利教育長**

・それでは、意見交換に入ります。ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

**金永委員**

・前回の委員会でいくつか課題があったと思いますが、進捗状況はいかがでしょうか。

**酒匂専門監**

・前回、お話ししました修学旅行の件について、その後に教育課内において協議しました。その結果、小学校を沖縄県に、中学校を東京都へということで意見がまとまったところです。小学校、中学校共に将来を切り拓くためのキャリア的な考えかた、そういった力だとか、最後まで粘り強く解決していく力とか、そういったところが子どもたちには必要だと色々な調査で出てきています。そうしたところからキャリア教育をさせてあげたい、多様な文化に親しむ機会とか、日常の生活と異なるところで貴重な体験をとおして豊かな文化や人々との出会いから一生の宝物を得てもらいたいという思いがあります。小学校では6年生で初めて歴史を学びます。そこで初めて戦争の



ことを学びます。座学で学ぶ戦争、そして沖縄に行って学ぶ戦争、貴重な体験、学びにつながります。中学校では卒業してから高校に行きます。又は働きに出ます。自分が将来どのような大人になっていくのか。そのようなことから日本の政治、経済の中心地である東京に行き、企業や文化を見て将来の夢を広げていく。そういった良い経験になると考え、前回、提案しましたように、小学生を沖縄県に、中学生を東京都にと決定させていただきました。修学旅行にかかる保護者負担額について、現在の小学校、中学校共にほぼ変わらないように補助をしていきたいと考えています。

#### 恵利教育長

- ・木城町のことを調べて発表したり、修学旅行の行き先で学んだことを総合的な学習の中で活かしていく。贅沢ではといった話もありましたが木城だからこそできる。

#### 平野課長

- ・補足ですが、前回の委員会では町の補助の話もしました。現在の小学校の保護者負担が1万2500円程度です。沖縄に行くとなれば旅費が6万円から7万円程度かかりますが、町の補助率を4分の3とすることにより保護者負担は1万5千円から1万7千円程度の負担となることを説明しました。これについてはこの案でいきたいと思っています。中学校について、現在は沖縄で保護者負担が4万2千180円です。東京都となれば旅費が7万円から8万円程度かかります。前回の委員会では補助率が4分の3という説明をしたところです。これでいきますと1万7千500円から2万円程度の負担となり現在より保護者負担が軽くなるということでありましたが、ご意見をいただきましたので、現在の保護者負担額と変わらない程度と考えると補助率を下げまして旅費の2分の1の補助。3万5千円から4万円程度となります。この案でいきたいと考えています。補助率が小学校で4分の3、中学校が2分の1の補助となります。

#### 金永委員

- ・できるだけ遠くに行かせたい、良いものを見せたいという気持ちは誰でも出てくるのであって気持ちは十分わかります。このようにさせたいという気持ちは共有できると思います。ただ、教育活動、教育内容というものは学校が考えて、子どもたちの実態を見ながら、こういうところを学ばせようと。保護者の負担を考えた時にこのへんが妥当ではないかということで学校から目的地とか規模的なところが出てくると思います。学校行事、学校の教育活動ですから。専門監がこうしたいから、ここに行かせたいからとすると、教育活動を決めつけてしまうことにならないかと心配をします。専門監の立場と、学校の立場とでいくと、専門監から言われれば断れないと思います。学校の改革の流れからすると自律性、主体性というのが求められると思いますが、そこまで踏み込んでいいものかと引がかかったものですから。指導主事の役割としては学校に対する指導助言だと思いますが、学校が考えてわからない時、修学旅行をこのように考えたがどうでしょうかねというときに助言するというのはいいと思います

が、教育の内容を全部決めてしまって、旅費に税金まで投入してくるということができるのかなという心配があります。保護者の要望があつて学校も考えてと。旅費は基本的には自費で行くから積立てをすると。修学旅行のコースを出して旅費がこれくらいかかりますよと保護者の了解を得てというところはあると思います。町がこれだけかかるのですかと、それであればいくら補助しましょうというのであればわかります。

#### 酒匂専門監

- ・説明した内容については教育課で協議して決めたものであり、私個人の意見ではございません。

#### 平野課長

- ・補助金につきましても、先ほど説明しましたように、前回、余りにも多額の補助ではないかとのご意見でしたので、現在の負担額と変わらない程度の負担額とするものです。

#### 酒匂専門監

- ・令和5年度に義務教育学校が開校します。木城ならではの、木城町の学校だから体験できるといった令和5年度開校に向けた大きな目玉とするものです。

#### 鳴海委員

- ・学校ともある程度コンタクトして、どうでしょうかという話はしていると思います。決して勝手にやっている訳ではないと思いますよ。

#### 白瀧係長

- ・ふるさと教育、キャリア教育の研究を昨年からやってきていますが、豊かな体験活動をどこかで組んでいこうという話をしています。その中で東京への修学旅行というのも先生方へ提案しましたし、小学6年生は沖縄県のうるま市へと。学校から提案ではなくこちらから提案しました。ただし費用を伴うものですから、なかなか学校から提案できるものではありません。ですから我々が企画して、提案して先生方と話し合っただけでより良い方向を決めていくという手順を踏んでいくわけです。先生方からも最初は戸惑いがありましたが、中学2年生において、今学んでいることをもとに大都會の東京で関東木城会の方たちとも交流します。今学んでいることは大都會でも活かされる、活かして生活している方もおられる訳です。うるま市においても鹿児島と同じように平和教育ができます。加えて、うるま市とはこれまでの交流という付加価値もあります。現地に行って見てみないとわからない自然環境のことなどもあります。メリット、デメリットも先生方と話し合った中で進めています。ですから、必ずしも教育委員会が全てをというものではありません。より良いものを作るために教育委員会から提案して、ふるさと教育、キャリア教育の中で話し合ってきていますのでどうぞご理解いただきたいと思います。

#### 鳴海委員

・町の持ち出しが増えるというのが心配ではありますが。しかし、説明があったことからすれば、学校なり、教育課なり、全体でも検討して決めたことだからいいと思いますよ。前回よりずいぶん進歩していると私は受けました。

**恵利教育長**

・十分な説明がなかったことをお許しください。

**金永委員**

・学校と連絡を取りながら、先生たちも十分周知されているとは思いますが。ただ大筋をこちらから投げかけられたら、おそらくそれは受けるだろうと思いますよ。そうなった時にそのまま行きます。東京、沖縄になるという発想が、関東木城会との交流ですよ。これが学校から出るのかなと。

**白瀧係長**

・そこは私たちが先生たちに提案してこういう方法もありますよという手段を示していく訳です。

**金永委員**

・その場の設定とか、お互いの連絡とか非常に大変になってきますよね。高校でも生徒会がOB会との交流会とかありますが全体として行くことはないですよ。修学旅行として行って関東木城会との交流会を先生方が負担なく設定できますかね。決まったということであればそれでいいんですが、意見ですから。いろんな視点から見ておかないと後で困るから。うるま市もあります。うるま市の発想ってどこから出てくるんだろうと。県人会等には通常、行政として交流しますね。子どもたちがそこに行く必要性があるのかなと。教員がそれを求めるのかなと。負担にならないでしょうか。2泊3日でハードではないでしょうか。中途半端な見学になったりしないでしょうか。そういった目的に対して疑問があったんですよ。関東木城会、うるま市との交流。学校が求めるだろうかと。学校の発想というのは大事にしていきたいと思いました。補助の度合いが沖縄で5万円になりますかね。

**平野課長**

・前回、中学校を4分の3の補助率としたときに5万2千500円から6万円を補助としていましたが補助率を2分の1にしたときに3万5千円から4万円となります。保護者の負担は、現在の負担額が沖縄県4万2千円ほどです。これが東京へとなれば3万5千円から4万円の負担となりますので負担額はあまり変わらなくなります。先ほどから心配していただいています関東木城会との交流につきましては役場の方でノウハウ等がありますので学校へは提供できると考えております。うるま市につきましても中学校が沖縄に行っていた訳ですから既にパイプはできています。学校の先生方が四苦八苦ということにならないようにサポートしていきたいと考えています。

**白瀧係長**

・そこができるのが木城の良さでもあります。他の学校ではそこまで手厚く教育委員会

が支援できるところはなかなかありません。だからこそ木城の学校で学ばせたいという保護者が増えてくるのかなと思います。学校に丸投げではなくしっかりサポートしていく。コミュニティスクールディレクターを配置したというのも学校環境を整えるという意味の一つです。

#### 金永委員

・そう決まればそうしていただかなければなりませんよね。学校の負担が増えるようであっては本末転倒ですから。小学生が沖縄、中学生が東京となれば高校生ではないからしっかり見ておかなければなりませんよね。金額の方ですが4万円、5万円やってこれで行ってきなさいとなると、どう考えても高いなと。保護者の負担は減るということではいいですよ。町の補助が大きくなるから。それであればもっと見合ったところへ、町の負担を大きくしなくても行ける範囲で考えるのが妥当ではないかと思います。税金のことはわかりませんが。例えば病院でも専属の医者がいないので鶴田病院から来ていただいています、予約制をとっていますよね。だから溢れたら町外へ行ってしまふ。私の希望で言えば、お金があるのであれば給与を上げてやって専属の医者を雇って、内科だけではなく整形外科と2つの科があったほうが地域の方の要望に応えられるのではないかと思います。バスで病院まで送ってあげるとか。昨年、生涯学習の集いの中学生の発表で、子どもたちが遊びに行く場所が無いと言っていました。それならば近場に作ってあげればいいのになと。だから全体的に見て税金を大切に使用していただきたいなと思うんです。

#### 恵利教育長

・財政面の全体的なバランスに占める教育費、町長の教育にかける思い。子どもにかかるお金は先行投資だという町長の意見を大切にしながら議会に対して出していきますが、その前に町長査定もありますし、大事に使わせていただきますし、これが絶対に町のためになるんだという使命を私たち受けながら、他の財政面もいろいろ考えながら、教育課としてはこれを提案していきたいと思っていますところです。義務教育学校の建設も進んでいて財政面でも傾注している面がありますが、これが町の1つの戦略といいますか私たちもこれがいいのではないかの思いをもって信念をもって取り組んでいきたいと思っています。委員がおっしゃるように子どもたち教員の負担にならないように成果発表もできるようにやっていきたいと思っていますのでどうぞご理解のほどお願いします。

#### 金永委員

・私は考えたことを言っているだけです。ここで判断して、町長が判断するでしょうからそれでいいんですけど。ただすんなりいってしまうとですね。税金も簡単に入ってくるんだなと思ってですね。システムもよくわからなかったんですが、普通であれば担当部署でよく検討して、課長会で検討して煮詰めていくんだったらわかるんですが、いきなり町長との関係だけで決まってしまうように感じたものですから。一人当

たり4万円、5万円という先行投資と言っても、もっと近場でもいろんな成果を上げられるとも思います。学びの場を設置するとか、指導できる講師を呼ぶとか先行投資のやり方もあるんじゃないかと思います。

**恵利教育長**

・そこはまた研究していきます。いただいた意見についてはいろんなところで話をする機会がありますので。

**金永委員**

・おそらく町長の先行投資したいというのがあるのでしょうか、あまり教育の方にお金が入ってくるという現象が、政治色が強まらなければいいけど。学校の中に。ある程度一線を引くことも必要じゃないかなという感じがするんです。

**鳴海委員**

・政策的なことは、ここでするようなことではないから。それは町長の方針だから。我々がそこまで突っ込んで言えることではないんじゃないかと思います。それとは別で、奨学金のことについては検討していますか。

**平野課長**

・農業高校生、農業大学校生に対する給付型の奨学金について、前回の委員会で何かお知恵を拝借したい旨でお話しをしましたが、委員の皆様からは、慎重に検討をと、教育委員会の範疇を外れているのではないか、なかなか難しいとのご意見をいただきました。これについて教育委員会でこのまま検討していくことになる、予算が絡むものであり進みませんので、町長には教育委員会で出た意見を伝えました。そのうえで専門分野である産業振興課で検討していただくよう依頼して良いとの了解を得ましたので産業振興課にその旨を依頼しました。その後、産業振興課の方でどのようなことかについてはわかりません。

**鳴海委員**

・そのように進んでいるということですね。それでいいと思います。

**恵利教育長**

・通学鞆の件についても報告を。

**白瀧係長**

・令和5年度に新1年生となる児童への通学鞆を購入する際の補助の在り方については、木城町として推奨するリュック型の鞆を購入する場合にのみ4分の1の購入補助する案となりました。通常のランドセルを購入した方への補助は出さないこととなりました。

**鳴海委員**

・制服の件はどうですか。

**白瀧係長**

・商工会へ確認を取りましたが、学用品を取り扱っている町内業者は1店舗のみでした。

範囲を広げるかどうかについては現在のところ検討中です。

金永委員

・ランドセル購入への補助はないということですね。

平野課長

・ランドセルを購入した場合の補助について、上限を設けてはどの提案を委員会でいただきましたが、木城町としてリュック型を推奨するのだからランドセル購入への補助は行いません。

金永委員

・リュック型を推奨するのだからということですね。私もランドセル購入への補助はおかしいと思いますので。ランドセル購入への補助を出せばリュック派とランドセル派の二つに分れるから。ランドセルを購入される方も多いでしょうけどリュック型への補助というのがいいと思います。

恵利教育長

・前回の定例会でいただいた様々なご意見について検討しています。

金永委員

・小中一貫校への取り組みについて、12月に公表は確かなのですか。

酒匂専門監

・学校管理規則の改正をする必要があります。教育委員会で提案して公表というかたちになると思いますので、12月ぐらい、年明けぐらいにはと考えているところです。

金永委員

・教育長だよりで、来年度、小中一貫校の学校開設、再来年度の義務教育学校の開設に向けてと。来年度の小中一貫の学校開設とありますが公表されたのかなど。

恵利教育長

・公表はしていません。これは先生方だけにしか出していません。先生方にはある程度方向性は出しているのです。一般向けには出していません。

金永委員

・地域一般の住民の感覚からすると、12月公表ですよ。小中一貫と。

恵利教育長

・実は今も一貫校の教育を進めていますので。何年か前からですね。

金永委員

・表向きに今度は小中一貫校と打ち出す訳ですよ。

恵利教育長

・中身が今度はこう変わりますよとか。組織もこう変わりますよとか。そこを改めて説明していくことになります。

金永委員

・12月公表、4月開設という期間がですね。小さい事業であればいいですが小中一貫

となれば大きな事業ですから。普通2、3年前から公表してと。本町の場合、義務教育学校を進めているからそんなに時間はいらさないんですが。数か月後に開設というのに違和感があるんですが。大丈夫なのかなと。初めて私が聞いたのが、7月か8月に聞きましたが、公表は早くしていたほうが違和感はないかなと。住民から突然だと、再来年は義務教育学校と。なんでだろうと思う方もいるんじゃないかと。ある程度、周知しながら進めていった方が親切かなと思います。

#### 酒匂専門監

- ・現在も小中一貫校という考え方でやっています。来年度も施設併設型ということで感じは全く変わりません。来年度、一貫型の小中学校となりますが、基本的に組織としては小学校、中学校と別々の組織となります。令和5年度に義務教育学校となって初めて一つになるということです。義務教育学校というぐらいの大きな変化というのはそこまでは無いのかもしれませんが。中身の教科の指導の仕方とかは若干、変わってくる。そこは地域の方へ説明できればと考えています。

#### 恵利教育長

- ・一番言わなければならないのは、突然、令和5年度に変わるというのが子どもにとっても、職員にとってもプレッシャーとなってリスクを負うということです。だからこそ4年度のうちに少しでも、別々の校舎だけど子どもと一緒に出来る内容、または、例えば5、6年生の専科。専科を進めなさいとなって義務教育学校で進めようとしています。それを試しでやってみるとか。または正式な一貫校となった場合は人事にも関係してきます。そういうところを進めることが義務教育学校をスムーズに開設できるそのことを委員がおっしゃったように保護者に説明して理解を得て、そして一貫校の姿に変えていく。姿は変わらないと思います。中身が少し変わってくる。そういうことをあらためて、保護者の不安とかが出てこないように取り組んでいきたい。一番は子どもたち、先生方、保護者、地域のためでもあります。

#### 金永委員

- ・できるだけ早めに、やっていったほうが、慌てなくていいんじゃないかと思います。恐らく新入生の子はランドセルとか購入されているところはあると思います。

#### 恵利教育長

- ・靴のことは義務教育学校のことですから再来年度の入学に該当することになりますから。不安が無いようにしていきます。

#### 金永委員

- ・小中一貫と打ち出すならですね。中身だけでいくんだったらわざわざ小中一貫と打ち出す必要があるかなと。

#### 恵利教育長

- ・変えにくいところがあります。先日も説明したと思いますが。

#### 金永委員

- ・できるだけ早くですね。工事のときも決まってからの説明だったとのことでしたのでできるだけ早く知らせておいたほうが安心感は出ると思います。

恵利教育長

- ・それでは、次回定例会について課長よりお願いします。

#### (5) 次回定例会日程 (案)

平野課長

- ・本日の開催案内の案内では指定した日時を出していませんでしたが、事務局案と11月25日の木曜日の午前中だと考えています。いかがでしょうか。

恵利教育長

- ・11月25日の木曜日の午前9時からでいかがでしょうか。それでは11月25日の木曜日、午前9時から開催ということで総合交流センターでの開催ということでお願いします。以上で本日の定例会を終了します。

定例会

次回臨時会日程

11月25日(木) 午前9時00分 総合交流センター

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

恵利 修二

委員

鳴海 良廣